

# 金属時評

2013. 4. 25

株式会社 金属時評

〒107-0052 東京都港区赤坂2-16-13 赤坂京ビル3F

<http://kinzoku-ree.news.coccan.jp/>

Tel03(3589)2690 Fax03(3589)2691

&lt;トップインタビュー&gt;

## ●マテリアル・トレーディング・カンパニー

### 小滝 秀明 代表取締役

2012年のレアアースの国内需要は2005年以来、8年振りの大幅な減少となる1万4,470トン前年比31.4%減にとどまった。企業を取り巻く環境は、極端な円高を始めとして5重苦、6重苦を抱えているといわれるなかで、レアアースの主力需要産業である電子産業の不振は眼を覆うばかりであり、強い競争力を誇ってきた自動車や機械、プラントなどでも韓国、台湾企業に出し抜かれるケースが散見されるなど、産業全体のほころびが目立っていたことが響いたといえよう。今年に入って、安倍晋三首相による「円安」政策効果によって、輸出産業を主体に景気浮上へのきっかけを掴んだかに見える日本経済は、本格回復への真贋が問われる時期に入ってきたが、「どん底」からの反転を誓うレアアース業界の期待度を、マテリアル・トレーディング・カンパニーの小滝秀明社長に聞いた。

—昨年レアアース需要は、ニッケル水素電池やセラミックコンデンサなどを除く、磁石、蛍光体、排ガス触媒、研磨材などが軒並み低迷したことによって、大幅な減少となりました。2004年の1万2,084トンは上回ったものの、2005年の2万2,314トンには遠く及ばない惨憺たる状況でした。

小滝 安倍新政権発足から3ヶ月を経て、いわゆる「アベノミクス」効果によって、輸出企業の大きな足かせになっていた為替が一気に円安に転じた。それにともなって、自動車、鉄鋼を始めとした輸出産業が急回復する見通しとなったことにより、レアアースも「底入れ」しつつあるとみている。今年1月頃のような閑散とした取引状況からは脱したと言えるのではないかと。

このため、昨年の国内需要1万4,470トンから2013年は1万5,000トンを下限に、1万8,000トン台まで伸びてくれれば、と想定している。円安、株高が実態経済の回復にまで繋がることによって、3年振りのプラス成長に転じるはず。

弊社は1999年にロンドンで創業し、2010年には日本でレアアースやレアメタルなどの資源事業に本格参入したが、直後に尖閣問題が勃発し、中国のEL枠の高騰や通関遅れなどによるレアアース需給の極端なひっ迫に直面、必死で手当てに走ったことが昨日のことに思い出される。

それから思えば、昨年秋から今年初めはまさに、「閑古鳥」が鳴くような最悪の市場環境だったが、幸い、昨年上期まではお客様にも信頼とご支援をいただき、2011年7月期比で倍増を実現できた。

—2012年の中国のEL枠は、3万996トンでしたが、中国の通関統計による輸出実績は1万6,265トンにとどまりました。ピークの2006年と比べると3割程度ですが、今年はマレーシアやインド、カザフスタンなどの新規ソースからの輸入が始まります。構造的に大きな転機を迎えている

といえましょう。

小滝 マレーシアやインド、カザフなどの計画が立ち上がるが、スペックや価格が折り合わないなどの課題を抱えており、輸入が急激に増える環境にない。これらの開発には、国の資金が投入されているわけであり、ソース拡大のみならず、スムーズな立ち上がりを支援することも「ある意味」、安定供給につながることはないか。「安値輸出」に追い込むことは、かつての中国取引と同じ結果を招くことになりかねない問題を孕んでいる。もちろん、レアアースの新規需要の創出も大事だが、当面の対策として需給ギャップが大きく広がることが予想されるだけに、新規ソースからの「輸入の奨励」や「既存需要業界への利用拡大」などの働きかけが大切になる。

一新ソースの出現によって、中国一国に傾斜してきた供給バランスの転換と同時に、レアアース産業に特有な「軽、中、重希土までの 17 鉱種のバランスある需要構造」の確立が欠かせませんが。

小滝 予てから、セリウムやランタンの需要減少はジジムの供給不足を招き、ジスプロシウムの需要減少は、イットリウムの生産に影響を与えるというレアアース特有の需給バランス構造の課題が知られている。圧倒的な中国依存度の増大にともない、供給不安を招いたことから国による「元素戦略／希少金属代替材料開発」が強力に推進された結果、セリウムの代替化にややシフトし過ぎた感もあり、この修復が今後のレアアースの需給バランス対策の大きな課題となる。触媒や研磨剤向けなどの主要用途の回復を図ることが望まれる。

一軽希土類の代替化の加速にともなって、軽重バランスが大きく崩れてしまったと。

小滝 そうです。昨年、レアアースの需要業界で過剰在庫が表面化しており、巨額な評価損が発生している。こうした状況が、軽希土から重希土までの幅広い顧客で起こった。

一需給バランス対策からも、すでに対象鉱種が拡大されている「国家備蓄」の活用やご指摘の新たな「輸入促進策」なども考慮する必要が出てきそうですね。過去には、民間在庫を国家備蓄に「借り上げる」ケースもありましたし・・・。

また、磁石業界などでは、ジスプロシウム不足対策として、省ジスプロシウム化や脱ジスプロシウム化への開発が進展する一方、フェライト磁石への転換が促進されるなど、今年は前年に比べて70%もの利用削減が進むとの見方もありますが。

小滝 ネオジム磁石では「ジスプロレス品」が登場している。しかし、それらの初期「歩留まり」や「コスト」は高価にならざるを得ない。レアアースの鉱種間バランス対策を考慮すると、ジスプロの需給の安定化と価格低下が具現化してくれば、磁石業界が再度、ジスプロを使う動きが出てくる可能性も無視できないのではないか。

一需給対策として、中国での戦略備蓄が具体化していますが。

小滝 香港や中国でのレアアース関連のカンファレンスでも、セリウム問題が取り上げられており、在庫が積みあがってしまっている問題がテーマになっている。当然、日本向けの減少も焦点となっている。中国のレアアース企業ベースの人々も皆、この問題について心配している。

しかし、民間ベースでは尖閣問題や国家間の難問もほとんど影響はない。むしろ、「大丈夫」と

気を遣われることもあるほど友好的だ。昨年から今年にかけてロスキルや、アジアンメタルなどの主催によるカンファレンスが行われ、活発な意見交換が行われているが、これらを含めてレアアースの諸問題を「世界規模で考え、取り組むこと」がますます欠かせない状況となってきた。

—御社としても、予てから豪州からのジスプロシウム手当てなどにも積極的に動いたようですが。

小滝 顧客とコンソーシアムを組んでイットリウムなどを組み合わせた自社でのジスプロ案件もあるが、需給見通しが立たない現時点では、ペンディング状態となっている。我々商人は、詰まるところ一缶からレアアースを買ってもらわなくては商売にならない。価格もさることながら量的な拡大が基盤になるだけに、需要復活への期待が強い。

—経済産業省の補助金事業にも参加し、低濃度のレアアース酸化物から高純度化する「高効率」で「低コスト」、「低環境負荷」を実現するコンパクトな量産プラントの実証事業を推進されていますが。

小滝 国の補助率が3分の2のプロジェクトで、(株)アサカ理研、日本原子力研究開発機構との共同研究により、年内にも「量産実証」へのメドをつけることにしている。原研が開発した「新プロセス」をベースに、月産処理能力数十トン規模の設備を想定した開発を行っている。大企業のように巨大な設備を使って量産することが目標ではないが、小規模でもニッチなレアアースの分離、高純度抽出の利点を生かした、新規な用途向けに市場が見込めるのではないかと判断している。中国化が進んだレアアース精錬・抽出技術に再度、日本でチャレンジし、「高度なモノ作り」技術の継承と人材の育成を同時に図って行きたい。

—「親レアアース・レアメタル」をベースにした多様な産業の再建が待たれますが、御社のコーポレート・アイデンティティは、「レアアースとレアメタルを通して現代社会に貢献するプロフェッショナル」ですね。

小滝 世界を舞台に堂々と胸を張って挑むのが私たちの使命です。コミュニケーション能力はもちろん着想や行動においても世界の一流から尊敬されるような私たちかどうかを常に考えて行動する。そのためには、小さなことにも目を配り、取引先の「言葉にでない求めにも」自然と応えられる、そんな私たちになれるよう、誰よりも一生懸命に考え続ける所存です。

誰よりも内容の濃い、スピード感溢れる行動ができれば、私たちの価値を取引先は評価下さるでしょう。私たちはそれを信じて一日一日を大切に努力いたします。レアアース・レアメタルにおいて、まだ小さな所帯であっても志と行動は見事に世界的なプロ集団を目指しています。

—長時間、ありがとうございました。